

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和5年11月17日

事業所名: 放課後等デイサービスすまいるいぶらす

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準となるスペース以上に確保しています	はい28名、分からない1名	物の置き場所を工夫し広く使えるよう対応しています。利用者の人数や状態を考慮しながら改善していきます
	2 職員の適切な配置	基準より多くの職員を配置しています	はい22名、どちらともいえない1名、わからない6名	適切に職員配置されています
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーでない所はフラットにするように整備しています	はい26名、わからない3名	必要に応じて玄関前にスロープの設置や見守り・介助を行い、安全の配慮に心がけていきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃を行い、汚れたらこまめにアルコール消毒を行い清潔な空間を保っています	はい26名、わからない3名	快適に過ごすため、清掃・消毒に十分注意し、コロナウイルス防止のため感染症対策に努めます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に職員間でミーティングを行っています		業務改善に繋げていき、今後も継続して実施していきます
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は行っていません		外部の評価は受けていませんが、保護者や関係機関等の意見は取り入れるように改善していきます
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要と思われる外部研修に参加し、情報を共有しています		研修報告会を開き、研修に行った職員が報告会を行い、職員の質の向上に努めています
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適切に行っています 用紙による要望者や面談を設けています		スタッフ間での意見交換を行い、情報共有しています
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じ、個別集団の視点から計画を作成します		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々に応じた具体的な支援内容の記載をしています	はい29名	今後も継続して実施していきます
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿った適切な支援を実施し、学校の方と面談、モニタリングを行っています	はい29名	今後も継続して関係機関と連携をとりながら計画に沿った支援に努めます また、面談の機会も増やしていきます
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で日々の活動プログラムを立案しています		今後も継続して職員全員で話し合い、活動プログラムを計画していきます 外出・公共交通機関での外出も行っていきます
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用時間に応じて活動内容・支援内容を変更し、対応しています。 季節に応じたプログラムを中心にを行っています		今後も継続して利用時間内での集団活動・個々の支援内容を検討していきます
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの興味のあるプログラムを探求して取り入れ、就労に向けた作業学習、SSTも取り入れています 個々の課題学習に取り組んでいます	はい29名	季節に応じた活動や、ご利用者様に応じて必要なプログラムを考え固定しないように配慮していきます
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日ミーティングを行い、共有・確認をしています		今後も継続して職員全員で話し合い、情報共有していきます
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後または次の日の午前中など、職員全員で問題点について話し合います		今後も継続して職員全員で話し合い、情報共有していきます
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回、集団活動と個別支援の内容を記録し、職員全員が再確認できるようにしています		今後も継続して職員全員で話し合い、情報共有していきます
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的及び必要だと感じれば、モニタリングを実施しています		今後も継続して実施していきます
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児童発達支援管理責任者や担当者が積極的に参加しています。会議前には職員間で情報の共有や課題点を検討しています。		今後も児童発達支援管理責任者や担当者が参加する予定です

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	ご利用者はおりません		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	ご利用者はおりません		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所や保護者、各学校と連携を取り、情報を共有しています。また、学校での様子を見学させてもらい先生との連携を取ります。		引き続き送迎時の短い時間も利用し、相談支援事業所や保護者、各学校と情報共有していきます
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在高校の卒業後の進路について、本人の希望をよく聞き、施設や学校の情報を収集し、一緒に共有しています。また、就労継続支援B型や生活介護・就労移行支援への見学・体験に参加しています		事業所や学校からの情報を集め、今後の円滑な移行支援に努めます
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要と思われる外部の研修会に参加しています		今後も引き続き必要に応じ積極的に研修会等に参加していく予定です
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	近くの公園や店舗・施設などの外出先で、障害のない子供たちと一緒に活動する機会を設けています	はい13名、どちらともいえない1名、いいえ1名、わからない14名	地域イベントに参加出来るものは引き続き検討していきます また、放デイ同士の交流も活動に取り入れています
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域にあるデイサービス、高齢者住宅へ年賀はがきを持ってお正月の挨拶に伺いました		今後も地域の方との交流を持てるようにします
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	必要に応じて説明しています	はい28名、どちらともいえない1名
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		個別懇談会での説明や、送迎時・お電話・お手紙等で説明を行っています	はい28名、どちらともいえない1名	面談に来られていない方に関しては、安心してご利用いただけるようにお電話や送迎時・メールにて説明を行います。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施		ペアレントトレーニングや行っていませんが、支援に関しての助言等は行っています	はい16名、どちらともいえない3名、いいえ1名、わからない9名	職員が適切な助言が出来るよう、知識を深められるように努めます
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		送迎時、保護者と課題について情報を共有する時間を設け、メールなどでやり取りしています	はい28名、どちらともいえない1名	今後も継続して保護者と連携を取れるように努めます
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		相談があった時は速やかに電話、メール等にて対応し、必要ならば面談の時間を設けます	はい23名、どちらともいえない4名、わからない2名	保護者との相談しやすい関係作りに努めます
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		感染症対策の一環で現在は中止していますが、3~4ヶ月に1回のペースで茶話会のお知らせをして希望者と交流の場を設けていく予定です	はい18名、どちらともいえない3名、いいえ1名、わからない7名	他事業所も入り、保護者会も実施していきます
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		速やかに対応し、原因を改善していきます	はい21名、わからない8名	今後も迅速にかつ適切に対応出来るよう、職員一同努めます
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		送迎時に今日の様子をお話したり、お手紙、電話、ライン等活用しています	はい28名、わからない1名	今後も安心してご利用いただけるよう情報伝達していきます
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		用紙やライン等にて保護者の方に活動内容を発信しています	はい24名、どちらともいえない3名、わからない2名	今後もわかりやすい情報を発信していきます
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		個人情報が含まれた書類は、鍵がかけられる書庫で保管しています	はい26名、わからない3名	今後も個人情報の取り扱いには十分注意していきます
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員に周知できるマニュアルは作成し、確認できるところに置いています。保護者への周知はしていません。	はい22名、どちらともいえない7名	保護者への周知方法を検討していきます
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	防災プラザ見学をプログラムに取り入れ、必要な訓練と知識を学び、年2回避難・通報・消火訓練を行っています	はい21名、わからない8名	今後も継続して実施します

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部研修に積極的に参加しています。職員にも会議等で情報共有し、アンケートも実施しています		研修会の内容を職員で話し合い、言葉や行動などにも気配りをしていきます
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身柄拘束を行っていないため、計画の記載もしていません。研修に参加し、内容は施設内で共有しています。		今後、身柄拘束を行う場合には適切な対応を行います
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書ではありませんが、保護者からの指示による適切な対応を行っています		必要と思われる場合は医師の指示書の提出を依頼します
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	問題が起きれば速やかに職員会議で話し合い、ヒヤリハットの情報を共有し、再発防止に努めています		今後も職員全員で対応していき、未然に防げるように努めます